



『現代物流—理論と実際—』

國領 英雄  
流通科学部 教授 著  
晃洋書房



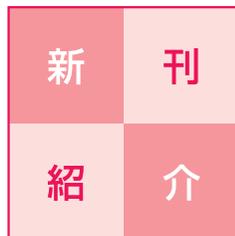
『2005年度 日本人間工学会認定  
人間工学専門資格試験ガイドブック』

山本 博樹  
流通科学部 助教授 共著  
日本人間工学会



『入門 国際金融工学』

里麻 克彦  
経済学部 助教授 著  
中央経済社



『新・法と社会生活』

有澤 知子  
法学部 助教授 編著  
尚学社



『平和・生命・宗教と立憲主義』

有澤 知子  
法学部 助教授 共著  
晃洋書房



『上方能楽史の研究』

宮本 圭造  
国際学部 助教授 著  
和泉書院



『2010年コンテンツ産業に  
必要な8つの要件』

笠原 正雄  
情報学部 教授 著  
日本工学アカデミー・日本学術会議編  
株式会社アスキー

### 大阪学院大学広報

L'horloge ロルロージュ No.130  
November 2005

- 発行 大阪学院大学  
大阪学院短期大学
- 編集 広報部

〒564-8511  
吹田市岸部南二丁目36番1号  
☎(06)6381-8434(代表)

URL  
<http://www.osaka-gu.ac.jp>

### 編集後記

本号では湯郷温泉の若女将である卒業生 永山いずみさんにご登場いただいた。彼女の学生時代からホスピタリティ研究にかける情熱に感嘆するばかりである。

ところで今は、勉学のみならずスポーツの秋でもある。大阪学院大学のスポーツ各チームの活躍ぶりは本誌でもご覧いただいている。スポーツでは国際化の著しさが見逃せない。米国大リーグで日本人選手の活躍ぶりはもはや日常的である。アイスホッケーでも日本人選手が活躍するかもしれない。一方ヨーロッパでは日本人サッカー選手が活躍している。ここではドイツに注目したい。2005年4月から2006年3月までは「日本におけるドイツ年」で、様々なドイツ紹介が続いており、大阪学院大学のドイツ専門家方も大活躍の最中である。さらに来年ドイツではワールドカップ世界大会が行われ、言うまでもなく日本チームも参加する。その成果が今から待ち遠しい。

# L'horloge

Osaka Gakuin University  
Public Relations Bulletin

ロルロージュ No.130

November 2005

SUCCESS  
夢を持ち続けて

ESSAY  
「忘れられた人たちから  
生き方を考える」

山口 悟

FOCUS  
20号館  
(トレーニングセンター)  
le soleil

特集  
アメリカ大学野球選抜  
チームとの交流

CAMPUS LIFE  
CAMPUS NEWS DIGEST  
INFORMATION

新刊紹介

# 夢を持ち続けて

## ～大阪学院大学OGが語る～



### ～ 座談会出席者 ～ (順不同)

仲谷 秀一 流通科学部 教授 (進行)  
 片山 邦雄 国際学部 教授 広報部長 (司会)  
 小倉 康三 企業情報学部 教授 広報部長代理

永山いずみ ゆのごう美春閣 女将 平成12年 国際学部卒業

西川 公子 国際学部 3年次生  
 高山 紗恵 外国語学部 4年次生

SUCCESS

【片山】 今回は、平成12年に本学を卒業された永山いずみさんにお越しいただきました。永山さんは、現在、岡山県湯郷温泉「ゆのごう美春閣」の女将をされています。進行は「ホテル事業論」などを担当されている流通科学部の仲谷秀一教授です。よろしくお祈りします。



片山 邦雄  
 国際学部 教授  
 広報部長 (司会)

【仲谷】 永山さん、本日は遠方からお越しいただきありがとうございます。早速ですが、本日この座談会に出席の、将来ホスピタリティ産業(注1)での活躍を目指す学生からの質問に答えていただきたいと思います。永山さんは現在の仕事に就かれる前はホテルで勤務されていたということなので、その経験も合わせてお話いただければと思います。

### 旅館とホテルの違い

【高山】 私が以前ホテルヘルパイトに行ったとき、OJT (On the Job Training) (注2)という教育制度がありました。旅館とホテルのOJTの違いや、旅館で今どのような取り組みをされているかについてお聞きしたいです。

(注1) ホスピタリティ産業

約30年前、米国のホテル業界は、中世ヨーロッパのホスピタリティの精神である「旅人を暖かく迎え、一夜の宿と食事を供して手厚くもてなす」という理念にもとづいて、自らをホスピタリティ産業と称するようになった。現在、その産業域は世界的にホテル、フードサービス、さらには、航空、旅行業界も含めるようになった。

(注2) OJT

“On the Job Training”の略。企業内で統一して行う全体研修(トレーニング)に対して、職場単位で行う業務研修をいう。



高山 紗恵  
 外国語学部 4年次生

【永山】 私が以前勤めていたホテルでは、入社してから2か月間はお客様の前に出していただけませんでした。裏でおじぎの練習や着付けの練習をしたり、眠いのを我慢しながらいろいろな先生がたの話を聞いて勉強しました。お客様の前に出ることがあっても、入り口の前に並んで「いらっしゃいませ」と言うだけでした。

旅館の中にもそういうことに力を入れているところもたくさんあると思いますが、私達の旅館はまだこれからです。最低レベルの訓練は必要だと思いますが、それ以上は仲居さんそれぞれの個性を出してもらえればと思っています。

【仲谷】 西川さんは旅行業界を目指しておられるようですが、旅館をお客様に紹介する送り手を目指す立場から何か質問はありますか。

【西川】 ホテルと旅館の違いはどういうところなのでしょう。

【永山】 ホテルにはレストランやブライダルサロンがあって、宿泊以外の目的がたくさんあります。そういうことをされている旅館もありますが、旅館はどちらかという館内でゆっくりと一日を過ごしてほしいと

いうことを目指していると感じます。  
 【仲谷】 それでは、旅館とホテルにおける組織やマネジメント、そこで行うサービスについての違いはありますか。

【永山】 すべての旅館とは言いきれませんが、いろいろなかたのお話を聞いていると、旅館はホテルのように組織がないところが多いようです。旅館はどちらかといえば外資系のホテルに似ています。総支配人のような存在が一人いて、その下は全員一列。外資系のホテルとの違いは、ワンマンすぎて、そのほかのスタッフのレベルが開きすぎると感じます。

【仲谷】 システム化ができていないということですね。「ゆのごう美春閣」ではどのようなマネジメントを目指していますか。

【永山】 これからは次の世代を育てていかなければいけないので、組織化して若い世代に引き継いでもらえるようにしたいです。どうしても「今、この人が抜けるとダメだ」となってしまうがちですが、だれかが抜けても十分対応していける状態までは最低持っていきたいと思っています。



永山 いずみ  
 ゆのごう美春閣 女将  
 平成12年 国際学部 卒業



**【小倉】** 永山さんは最初から旅館の女将を目指してホテル業界で訓練されたのですか。

**【永山】** 全く考えていませんでした。美春閣の社長である現在の夫と知り合ったのは一昨年の12月になります。

**【仲谷】** そのあたりはこれからお聞きしたいポイントになるのですが、なぜホテル業界に進まれたのですか。西川さんは、これからまさに就職活動に突入して行かれるわけですが参考のために質問はありませんか。

**【西川】** 私も接客やサービス業の業界を目指しているのですが、ホテル業界に就職するために、学生時代に力を入れておられたことも併せて、お聞かせください。

#### ホテルウーマンに憧れた学生時代

**【永山】** 正直、ホテル業界に就職したいからこれをしたということはありませんでした。ただ、アルバイトで接客をしてサービス業の楽しさを覚えたので、働くのならかっこいいホテルウーマンになりたいと思いました。

就職活動では、ホテル業界だけでなくアパレル業界なども受けました

が、ホテルを受けに行ったとき、社長から会社説明を聞き、こういう考えの会社なら面白いかもと思いました。

企業の経営理念など、難しいことを並べている会社もありますが、就職先となった宝

塚グランドホテルはなぜか説明を聞いて「ああ、いい会社だな」と素直に思えたのです。宝塚グランドホテルの社長の「お客様に対しての考え方が自分にピッタリだ」と思い、入社を決めました。

**【高山】** 学生時代に「ホテル事業論」を受講されていたそうですが、それは、ホテル業に就きたいという目標があって選択されたのですか。

**【永山】** はい。ホテルで仕事をしたいと思ってのことです。

**【高山】** その当時の「ホテル事業論」はどんな感じでしたか。

**【永山】** 私は短大から大学に編入しましたが、短大でも航空業務や秘書検定の講義があって、そういう実技的な講義ばかり受けていました。特に、仲谷先生の「ホテル事業論」は楽しくて、今でも印象に残っていることがたくさんあります。実際にノートなども就職先のホテルに持って行きましたし、現在ももちろん持っています。従業員側の立場でも、上司の立場や女将さんの立場になっても、そのノートから学べるのがたくさんありましたし、今も部下や仲間には伝えられることがたくさんあります。今改めてノートを見るとどうい

う意味なのかと思うことや、雑談のメモもたくさんありますが、それが役に立つことが絶対あると思います。仲谷先生がホテル阪神の総支配人時代に自転車で営業に回られたという話を、なぜか私はノートの端に書き留めていました。これを営業に就いたときに読んで、ホテル阪神の総支配人が自転車で営業に回られたのだから私は歩いて回ろうと思って近所を歩いて回りました(笑)。

**【仲谷】** 旅館もホテルも中小企業ですから、トップが動かなければ動かない。それを言いたいためにわざと自転車の話をしました。また、地域にアプローチするということの重要性についても伝えたかったですね。

**【永山】** 私が歩いて回ったときはまだ従業員の立場だったので、「もっと頑張らなきゃ」という気持ちを持つためのお話としてすごく励みになりました。今の立場になると、「地域貢献のためにいかに地域のかたたちと交流できるか」という意味ですごく重要なお話だったんだと分かりました。同じ話でも、その時々で意味が変わってくるんですね。

#### 就職活動へ向けてのアドバイス

**【西川】** 私は旅行業界に就職したいと思っているのですが、多くの企業を回っている上できつと混乱しそうな気がするのですが、「この会社で働きたい」「この会社で自分はこういうことがしたい」と強く思える自分とピタッと合うような企業があるかが少し不安です。

**【永山】** 難しい質問ですが、ピタッ

とくるものは必ずあると思いますよ。私が学生時代から心掛けていることは、人をできるだけ嫌いにならないこと。よく悪い印象から入る人がいますが、周りにどれだけ悪くいわれている人でも、どこか良いところがある人です。そこを見抜こうと思って接していたら、いつか自分にピタッと合った人が不意に現れるのではないかと思います。難しいかもしれませんが、人を見る力をつけられれば、全く話をしたことがない相手でも、面接官でも、それは感じ取ることができると思います。

**【高山】** 永山さんは現在、実際に面接官のようなことをされていますか。そのときはどういうところをポイントに見られるのですか。

**【永山】** サービス業界なので、まず私の目を見て話すかどうかですね。目を見て話せば明らかにうそかどうか分かります。

#### 「自分だけの女将像」を作る

**【仲谷】** 現在の女将業に、以前のホテルウーマンとしての仕事ぶりは生かされていますか。

**【永山】** 十分生かしています。以前のホテルは客室数でいえば93室という結構大きなホテルでした。その中で私は25歳のときに予約・料飲部の課長をしていました。

**【仲谷】** そのような若さで課長とは珍しいですね。

**【永山】** 課長という役職以外に館内総責任者という役職も頂いていました。その予約・料飲部は何かというと、総務、経理、調理場を除くすべ

ての部門を担当する部門です。実際、担当していたのは予約・企画・営業・フロント・プライダル・サービスでしたので、やっていることは今の女将業と同じといえます。

**【仲谷】** それでは総支配人と同じですよ。

**【永山】** 大きな予算が立てられないことを除いては、ほとんど総支配人の仕事といえますね。

**【仲谷】** 25歳で実質的な責任者になるのは大変画期的です。だからこそ、女将という道も自分の中で可能性があると思われたのではないですか。



仲谷 秀一  
流通科学部 教授 (進行)

**【永山】** 実際になるまでは、女将というのは大女将が決めたレールの上を走らなければいけない職業だと思っていました。ところがうちの社長が「自分だけの女将像を作ればいいじゃないか。日本一の変り者の女将になってみる」と言ってくれました。疑い半分で足を踏み入れてみたら、何をするのも楽しくできました。今でも営業にも行きますし、植木を切ったり、着物のまま駐車場整理をしたり、何でもやっています。一方で売り上げ管理もしなくては行けないので、悪い部署を見付けて、何を直さなければいけないのか具体的に指示も出しています。今となっては女将という枠のこだわりは全くなりませんでした。

**【仲谷】** 日本の伝統的な旅館業はホテル業のルーツではないかと思っ

ています。その中で見ていくと、各女将さんがたはかなり年配ですがオリジナリティがあります。それぞれやり方は違いますが、自分で作り上げたという意味からすると永山さんに共通します。オリジナリティを追求していくのが女将像かと思います。その反対に、システムを作り上げていくホテル経営学が一方ではあります。**【高山】** 最近仲谷先生のゼミナールでSWOT分析があってすごく楽しいと思いました。弱みに対してどう取り組むかということについてなのですが……。

**【永山】** ちょうど今私がいちばん取り組もうとしていることです。ホテルでも旅館でも、クレームはあって当たり前です。逆にクレームほどありがたいものはありません。

例えば、仲居さんの指導がなくていい、がさつだという意見があったとします。でも裏を返せば、うちの仲居さんは年配が多いのですが、すごく元気で、あいさつをすると「おはようございます!」と、どこから叫んでいるのかというぐらいの声を出したり、走ってお客様のお迎えをしてくれたりします。着物を着てそういうことをするのはよくないと思う人もいますが、かしまった旅館として売ることからクレームになるだけで、「うちの旅館に来れば目一杯の元気を提供します」というように、弱みを強みに変える言い回しができると考えています。

旅館業は、言い方は悪いですが「どれだけ人をだませるか」ということだと思います。お客様は楽しさを求めて来られます。そのお客様に対

して、どれだけうまく応えてあげるか、ということだと思います。お客様の期待に応えられるように、また、期待してもらえらるるように、旅館のありのままを見てもらおうと思っています。

【仲谷】「素敵に相手を詐欺にかける」ということですね。詐欺というのに語弊があるなら「幸せを演出するシナリオを書いてその役を演じる」。その元締めが女将ということですね。

【永山】「プリティーウーマン」という、女性が素敵に変身していく映画があります。この中で出資するのは最終的に彼氏になる男性なのですが、演出していくのはすべてホテルのスタッフなのです。私は泊りに来られるお客様にサービスするだけがサービス業だと思っていましたが、映画を見て、こんな素敵なサービスをするのもできるんだ、お客様の人生を変えてしまうようなサービスをするのも可能なんだと思いました。

【仲谷】ホテルのスタッフは主役になってはいけない。魔法使いのおばあさんの役割が総支配人です。「プリティーウーマン」はコーネル大学のホテル経営学の教材にも使われていました。

西川さん、自分が勉強したホスピタリティコースのことも含めて、永山先輩に聞きたいことはありますか。

【西川】ホスピタリティ精神でいっぱい勉強になったところはありますか。

【永山】私が初めてホテルで配属された部署は予約係でした。

仲谷先生の授業の中で、支配人に

なるためにはサービス部門から勉強していった方がよいというような話があったので、予約係といえば電話を取るだけと思っていた私は「道を外した」と思ってしまいました。しかし、やりたいことと実際にやれることは違うことがあり、今思えば勉強になることばかりでした。

私は電話がすごく嫌いでしたが、お客様とお話しているうちに声にも表情があるということに気づき、笑い声「笑声」はすごく大事だと思いはじめました。会って顔を合わせて話をするだけがサービス業ではないということを読んで、そこから視野を広げることができたと思います。電話でたくさん予約を受けて、お客様の情報もたくさん聞いて、それをサービス係に伝える。そのサービス係が上手に演出できたときは私自身もすごくうれしかったです。いつか私もサービス係を担当したいと思いましたが、ホスピタリティの形は接客業だけではなくいろんなところにあると思いました。就職活動をして、もしかしてホテルに就職しても、私と同じように予約係や、企画係になることもあるかもしれません。でも、目指しているものは一つだと思うので、それを信じて頑張りたいと思います。サービスの形は一つではないということを知ってホスピタリティコースでぜひ学んでください。

【仲谷】現在、日本の組織では55歳で総支配人になったら、若いといわれます。徐々に変わってきてはいますが、それでも永山さんのようにすぐに抜擢される例は少なく、大卒で大阪のホテルに勤めていたら、まだフ

ロントかベルボーイをやっている可能性もあります。

【小倉】永山さんはたまたま結婚がきっかけで女将さんになられたのか、家業を継がれたのかと思っていました。でも、今お話を聞かせていただいている、学生時代からホテルあるいは旅館で働きたいという夢があり、その夢を継続しているというか、その夢をさらに膨らませることによって、今の状態に自然と導かれて花開かれたような気がしました。また、人を見るときに、欠点を見るのではなく長所を見つけてあげる。そうすると、欠点も個性であり、決して悪いところではなくてというお話や、その時々置かれた状況の中で自分の夢を見つけて道を開いていってほしいという感じから、素晴らしい人生を歩んでおられるなという感じがしました。



小倉 康三  
企業情報学部 教授  
広報部長代理

【仲谷】やはり、やりたいことと実際に与えられるポジションは別ですね。しかし、やれることというのは、自分で培っていかねばだめです。そのために学生たちは何をすればいいですか。

【永山】就職する先でもそうですし、今でもそうですが、常にやりたいことを自分で探すことです。小さいことでもかまいません。

【仲谷】言われたことはやらなければいけません、それだけではなく自分で探すということですね。自分だけの女将像を作るということも

同じですね。

【西川】常にステップアップしていき、その中で自分にできることを探すことが大事なのです。



西川 公子  
国際学部 3 年次生

### 常に夢に向かってステップアップ

【永山】入社した当初は電話を取るだけの毎日で、「こうしたほうが良いと思います」と上司に言っても「黙っている」と言われるばかりで聞き入れてもらえませんでした。それなら、「黙っている」と言えないくらいのもを作ろうと思う、入社して半年ぐらいたったときに社内の資料を全部パソコンで作り直して見せました。それが意外に使いやすく、見やすく、ホテルのイメージアップになるかもしれないということで採用されました。

そうして、一通り社内の資料がそろったら、次はどうしようか、電話を取っているだけでは面白くない、外に出たいと思って、営業の打ち合わせに顔を出すようにしました。そのうち、「一人でも行けます」と言って一人で営業に回りました。

この業界では女性の営業担当は珍しく、小娘が一人で営業しても、相手は信用してくれません。旅行会社の営業担当に「こんにちは」と言っても、「そこにパンフレットを置いて」と言われる場合もありました。だったら一人でもいいから上の人を

捕まえようと思、その支店長とお話して仲良くなり、「ほかの支店長を紹介してください」と言って次に営業に行く所を紹介してもらいました。そしてまた、そのかたに次のかたを紹介してもらって……というように、人に助けていただきながら営業していきました。それがいつしか大きなマーケットになり、大型の団体客が入るときは、その支店長から営業担当に紹介してもらって、うちにきてもらえるようになってきました。

次は企画をやりたいと思い、ディナーショーの企画をのぞかせてもらうことにしました。予算管理などはよく分からなかったのですが、邪魔かなと思いつきながら先輩について見せてもらい、「来年、小さいイベントでいいからやらせてください。予算を使わない小さなイベントなら毎月できるのではないのでしょうか」と言って、地元で音楽関係者を探しました。お客様からそのイベントをやってく

れと言われるようにすれば、会社側も承してくれるのではないかと思います、本当に低予算で毎月行うイベントを企画運営することができました。

【片山】どんなポストに就いても、楽しくワクワク仕事されていますね。

【永山】夢は与えられるものではなく、自分で掴むものだと思います。掴めたらそれで終わりではなく、次の夢が絶対に現れます。ですから、小さな夢でもかまわないから、生きていく上ではずっと夢を持ち続けてほしいと思います。

【小倉】永山さんは夢を掴まれましたね。それは人生の中で素晴らしいことです。また夢を夢だけで終わらせず、現実化させておられることが素晴らしい。お客様を心から満足させる旅館経営を目指されているようですが、私も今回のインタビューで心の満足をさせていただきました。

【片山】ありがとうございました。





## 『忘れられた人たちが 生き方を考える』

昔、通っていた中学校近くの小学校には校門に二宮金次郎（二宮尊徳）像があり、忘れられたようにたたずんでいるその姿をよく目にした。戦前には勤勉や孝行などの徳目の象徴とされ、一種、軍国主義に利用された面もあった二宮像は、戦後は一転して忘れられていったようである。このように敗戦を境に忘れられていった人物は多く、ここで採り上げる佐久間艇長もその一人といえる。

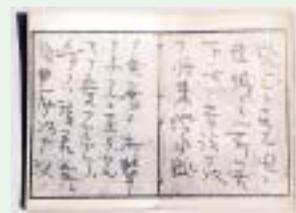
先日、福井県にある実家への帰省より帰ってきた母からの電話で、母が佐久間艇長の姪御さんとお会いして、親しくお話を伺ったとの体験談を聞いた。母は、佐久間艇長とは、高校での遠い後輩にあたる。その母の体験談から、私はこのエッセイの着想を得た。

佐久間勉（1879-1910）は、今の福井県三方郡八村（現三方町）に生まれ、苦学の後に海軍兵学校へと進み、日露戦争では日本海海戦にも参加、戦後は大尉として国産初の第6潜水艇艇長に任じられた。彼は、まだ幼少期にあった潜水艇運用にあたったが、山口県新湊沖での訓練中の沈没事故により30歳の若さで殉職した。当時外国でもあった潜水艇事故では、パニックになった乗員が出口へ殺到して折り重なって死んでいることが多かったが、事故2日後に艇が引き揚げられたとき、佐久間艇長以下乗員14名は誰一人持ち場を離れずに絶命していたことが発見された。しかも艇長は確実な死が迫るなか、事故の責任をわび、この事故の状況を詳述し、今後の潜水艇研究の停滞や部下の遺族を案じる遺書をしたためていた。以下にその一部を抜粋する。「小官ノ不注意ニヨリ陛下ノ艇ヲ沈メ部下ヲ殺ス、誠ニ申訳無シ、サレド艇員一同、死ニ至ルマデ皆ヨクソノ職ヲ守リ沈着ニ事ヲ處セリ、我レ等ハ国家ノ為メ職ニ斃レシト雖モ唯々遺憾トスル所ハ天下ノ士ハ之ヲ誤リ以テ将来潜水艇ノ發展ニ打撃ヲ与フルニ至



阪急コミュニケーションズ

ラザルヤヲ憂ウルニアリ、希クハ諸君益々勉励以テ此ノ誤解ナク将来潜水艇ノ發展研究ニ全カヲ尽クサレシ事ヲサスレバ我レ等一モ遺憾トスル所ナシ… [中略] …公遺言 謹デ陛下ニ白ス、我部下ノ遺族ヲシテ窮スルモノ無カラシメ給ハラン事ヲ、我ガ念頭ニ懸ルモノ之レアルノミ……」。この佐久間艇長の殉難は大きな感動を呼び、夏目漱石や与謝野晶子なども深く感銘を受け、英米でも美談として報じられた。しかし、教科書にも採り上げられたこの「沈勇」美談は、軍国主義の流れにも沿って位置づけられたために、戦後は一転して顧みられることがなくなってしまった。



遺書の一部

軍神として神格化された佐久間艇長ではあるが、一個人としての佐久間勉も、尊敬すべき刻苦勉励の人であった。彼は、家の苦しい経済状態ゆえに友人の教科書を筆写して勉強し、片道約12キロを徒歩で通学し、家計困難のなか進学を許しを得るべく父の前に両手をついて願い、家族への負担をいつもおもんばかって常に儉約して苦学した。また彼は、家族愛にあふれた孝行息子でもあった。日露戦争前には彼は以下の便りを母に送っている。「この金子些々な

がら 魚または他のじやう物をかひ 父上の酒のさかなにし また旨きものを買ひ母上もめしあがられたし、ためて



山口 悟 国際学部 助教授  
担当科目：現代史概論、外国史、ゼミナールⅠ、地域演習  
趣味：読書  
著書：『国際関係を生きる—教育する国際学』（共著）

おく事はなりません かならずごちそう用になされませ」(佐久間勉伝記編集委員会『郷土の偉人佐久間勉』佐久間勉艇長遺徳顕彰会、平成11年、31～32頁)。この息子の急な訃報に接し、彼の父は押入れの中に入って泣き続けたという。

私自身、佐久間艇長の享年よりいくらか年上になってしまった。しかし、彼ほどに家族をいたわり、刻苦勉励し、何よりも確実な死が迫る状況のなかで彼のようにふるまえるだろうか。情けないことに全く自信はない。しかし、彼の人生を知り、「彼のように立派に生きられたらな」と感じることは無駄ではあるまい。そのような立派な人物の人生を知ることは、自らの生き方を考えるきっかけになると思うからである。



佐久間艇長の肖像

歴史の中には多種多様な人物が登場する。悪人や愚者がいる一方、尊敬すべき人物も多々いる。それはいわゆる歴史的大人物だけではなく、たとえば郷土など、ごく身近なところにも存在している。それらの人々の人生を知り、自らの生に反映して、より良く生きようとするのが、歴史を知る一つの効用であると思う。しかし、最近では、「自分も見習いたい、かくありたい」というモデルを持ちにくい世の中になった。二宮金次郎や佐久間艇長には、今を生きる我々も見習うべきところが多くあるが、現在ではそのような人物を知る機会自体が少ないのである。軍国主義や封建的とのレッテルを貼って彼らを学校や家庭から消していったことは、ある意味、子どもや若者に生き方のモデルを提示してそれを考えさせる機会を少なくさせてしまったのではないだろうか。社会には自分本位の人々があふれ、親や教師ですらお手本にし難くなってきた現在、生き方のモデルを見付けられず、生き方を考えようともしない若者が逃走し、無軌道になりがちなのも理解できる気がする。勤勉や孝行などという徳目が急速に廃れていく感のある現代日本社会に生きている私には、そう思えてならない。

二宮金次郎や佐久間艇長など忘れられた人々を、偏った見方で捉えることなしに、一つの生き方のモデルとして再発見・再評価して、いま一度その存在を子どもや若者に知らしめてもいいのではないだろうか。彼らのように忘れられた有徳の人々は、まだまだ多数いるはずである。

万一のときのために事故以前に用意されていた佐久間艇長の家族宛の遺書には、弟とまだ幼い娘に宛てて以下の一節がある。「高潔ノ精神ト清廉ノ行トヲ以テ自ラ任ジ、人生ノ義務ヲ全フスベシ」(前掲書、37頁)。改めて教えられた気になるのは、私だけではあるまい。



第六潜水艇の模型

次回5月号のESSAYは、根無 喜一 国際学部 教授にお願いします。お楽しみに!

# FOCUS

20号館  
 (トレーニングセンター)  
 le soleil

開館時間 平日 10:00~21:00  
 土・祝日 10:00~18:00  
 休 暇 期 間 平日 10:00~20:00  
 土・祝日 10:00~18:00  
 休 館 日 曜 年 末 年 始 ほ か

\* 時期により閉館時間が変更する場合があります。

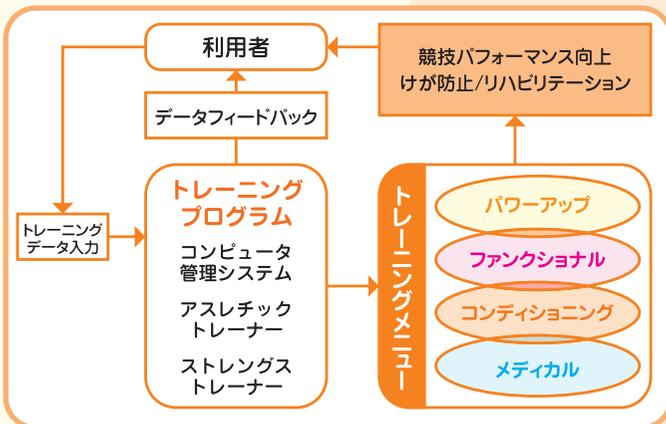


20号館は効果的なトレーニングが行える本格的なマシンを取り揃えたトレーニングセンターです。常時専属のトレーナーがおり、トレーニングの指導からリハビリ、健康管理まであらゆる内容についての相談ができるようになっています。また、運動種目別に個々の学生に応じた指導を行っています。



## 利用方法

- 講習申し込み  
(学生課にて受付)
- ↓
- 講習参加
- ↓
- 書類提出
- ↓
- 在学中利用可能



私は高校野球部時代によくけがをし、そのせいで苦しんだり、悔しい思いをしてきました。だから、大学へ入学してからは少しでもそのような思いはしたくないと思いウエイトトレーニングを本格的にやり始めました。その結果、当初の目的であったけがも少なくなり、筋肉がついたことで動きにキレが出てきました。バッティング飛距離も伸び、守備においても守備範囲が広がり、最終的にはパフォーマンスの向上にまでつながりました。今はウエイトトレーニングの重要性を実感しています。そして、これからもウエイトトレーニングを続けていこうと思います。



経済学部 4年次生  
 硬式野球部所属  
 南口 大地

私は大学生になって、初めてウエイトトレーニングを始めました。トレーニングセンターには本当にいろいろなマシンがそろっており、トレーニングをするには最高の施設だと思います。初めは、何げなくトレーニングをしていましたが、行う度に筋肉痛になるので「意味がないのでは?」と思ったりもしました。しかし、回数を重ねるにつれ、きついながらも少しずつ負荷を加えてできるようになりました。また、施設が素晴らしいだけでなく、常時専属のトレーナーがおり、各クラブや個人の希望・目的に合わせてメニューを組んでもらえます。自分の目的に応じたトレーニングができるので、とても満足しています。



企業情報学部 3年次生  
 陸上競技部所属  
 片平 辰子



私は、大きなけがをして初めてリハビリの大切さを感じました。けがをする前、リハビリは簡単で楽なものだと思っていました。しかし、実際にリハビリを行うと大変つらく、「いつになったらけがが治るのか」と、毎日が不安でした。何度も投げ出しそうになりましたが、そのたびにトレーナーのかたがたに励まされ、リハビリのメニューを作ってもらったり、支えてもらいました。長いリハビリ生活の中でいちばん学んだことは、継続することの難しさ、毎日努力しなければけがは治らないということです。早くけがを治して試合に出て活躍することが、お世話になったかたがたへの恩返しだと思っているので、これからもトレーニングセンターでのリハビリを頑張っていきたいです。



国際学部 3年次生  
 サッカー部所属  
 牛見 泰三

# 特集

FEATURE

## アメリカ大学野球選抜チームとの交流

ハワイ州を中心としたアメリカ大学野球選抜チームであるハワイ・アイランド・ムーバーズと硬式野球部との交流を、昨年に引き続き今年も実施することができました。野球技術の向上はもちろんのこと、異文化理解を深めることを目的に、次のような交流を行いました。

### 硬式野球部選手をハワイ・アイランド・ムーバーズに派遣

本学硬式野球部の投手である 篠本 敦史(流通科学部3年次生)・田中 祐二(経済学部3年次生)2名が、ハワイ・アイランド・ムーバーズの遠征(日本:6月23日~7月13日、ハワイ:7月14日~8月9日)に合流・参加し、交流試合や国際大会をハワイ・アイランド・ムーバーズの選手として出場しました。本学も参加したハワイ国際大会では、ふだんはチームメイトである彼らと対戦することに少し戸惑いがありましたが、活躍する彼らを客観的に見ることができ、とても頼もしく感じられました。



### ハワイ・アイランド・ムーバーズを本学に招聘

7月7日から7月13日まで、ハワイ・アイランド・ムーバーズの選手を本学に招聘し、千里山グラウンドでの硬式野球部との交流試合を中心に交流を図りました。期間中は、交流試合だけでなく、野球部員が20号館(トレーニングセンター)やI-Chat Loungeなどキャンパス内を案内し、ほかの学生や留学生とも交流を図ることができました。また、宿泊は千里山セミナーハウスを利用するなど、様々な施設を体験してもらうことができました。

### ハワイ国際大会(2大会)出場

今年度のハワイ国際大会では、本学硬式野球部は九州国際大学・ハワイ州選抜・ハワイ・アイランド・ムーバーズが参加する大会(7月28日~31日開催)と、浅井学園大学・カリフォルニア選抜・ハワイ・アイランド・ムーバーズが参加する大会(8月4日~7日開催)の2大会に参加することができました。本学の試合結果は1大会目が2位と健闘しましたが、2大会目は4位に終わりました。

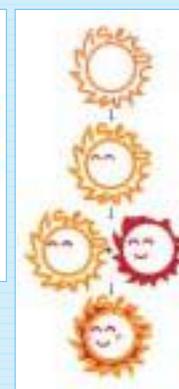
試合結果は満足なものではありませんでしたが、他チームとの交流においては大変有意義な体験となりました。特にハワイ・アイランド・ムーバーズとは、日本ですでに交流をしていたこともあり、グラウンド上では野球技術について、宿泊先である学生寮ではプライベートな話でも盛り上がる事ができました。ハワイ・アイランド・ムーバーズの選手たちは皆、大変前向きな考えを持っており、よい影響を受けることができました。また、片言の英語・日本語を交えた会話を通して、さらに英語が話せるようになりたいという本学選手が増えました。



**SPOT** 本学では、各学部・学科開設の授業科目以外に様々な履修プログラムを用意しており、その一つにEFLプログラム(English For Life Program)があります。これは、英語能力の向上だけでなく、ユニークで実践的なテーマについて「英語で学ぶ」ことに重点を置いたプログラムです。

EFLプログラムの「Applied Advertising(応用広告)」〔担当: D.M. アラカキ助教授)では、実際に広告作品製作などを通じて、基礎的広告戦略やマーケティング原理について学ぶことができます。

さらに、この授業では、学生のキャリアアップや社会貢献を目標に、産学連携にも取り組んでいます。その第一弾として、平成17年度前期は、北海道ニセコ地域で、じゃがいもや豆、スイートコーン、小麦、かぼちゃを栽培している小泉農園の小泉真利氏の協力を得て、小泉農園とその農作物を宣伝する「企業キャラクター」作成に取り組みました。EFLプログラムで学んだ広告戦略を生かして学生一人ひとりが、熱心に取り組んだ作品が出来上がりましたので、ここに紹介します。



作品名: ニセコちゃん  
製作者: 来田 光弘(外国語学部4年次生)

まず、「キャラクターを制作する上で大切なことは何か」と考えました。そして思いついたことは、一人でも多くの人達にキャラクターを印象づけることだと思い、作物が育つ上で必要な「太陽」をキャラクターとしました。そこで、「ニセコちゃん」の周りの炎の中に「ニセコ」という字を入れようとひらめきました。

「ニセコ」? 「NISEKO」? Eが書きにくいので小文字のeに「NiSeKO」としました。「太陽」の上を「NiSeKO」の文字にし、下を普通の炎の影にしました。色は「太陽」のイメージの濃いオレンジを選び、輪郭がはっきりするように線を太くしました。ここで顔も書き始め、ニコちゃんマークのようにしました。

次に、もっと明るい感じにするため、オレンジの線の影に黄色をのぞかせるようにし、「太陽」のまぶしさをより強めました。それから、まつげをつけ、口は、少しキュッと小さくして、かわいく見えるようにしました。そして、太陽の円と炎の間に色をつけようと思い、濃い赤は落ち着いて高級感があるので、濃い目の赤を選びました。目、まつげ、口もシンプルに同じ色にしました。名前は「ニセコちゃん」。かわいい女の子をイメージしてることと、独特な地名のニセコをそのまま使いました。

「小泉農園」という文字をローマ字ではなく漢字にした理由は、『あの「小泉」首相と同じだ!』と思われるだけを見た人の記憶に残ると期待したからです。それから「小泉農園」の字の影には、細かいですが、自然をイメージしました。最後にアラカキ先生や、周りの人のアドバイスをもらいながら完成させました。小泉農園の役に立てれば幸いです。



**作品名：コイネちゃん**  
**製作者：中山 和之（情報学部4年次生）**



このキャラクターは北海道の動物であるキタキツネを使い、北海道をイメージできるようにしました。小泉農園ではじゃがいもが盛んに作られているので、カゴの中にじゃがいもを入れました。なぜ、キタキツネがじゃがいもを運んでいるかというと、北海道から新鮮な野菜をより早く運ぶという意味を込めて作りました。

また、このキタキツネは、朗らかで、優しさがある小泉さんをイメージしました。まさにキタキツネは小泉さんです!!



**作品名：小泉バルーン**  
**製作者：片山 麻衣（外国語学部4年次生）**

小泉農園のキャラクター作成をさせてもらえると聞き、北海道ニセコについて調べ、イメージ作りから入りました。やはり北海道といえば大自然であり、そこから小泉農園の新鮮な野菜たちが全国各地に送られているということで気球をキャラクターにしました。また気球の色にはピンクを使い、小泉さんの野菜への愛情を表しました。文字のフォントや色合いなど、全体的にだれからも親しまれるキャラクターに仕上げました。



**作品名：カボちゃん**  
**製作者：堀尾 亜矢（経済学部4年次生）**



このキャラクターはかぼちゃをイメージして製作しました。北海道の太陽を存分に浴びて育つかぼちゃのほっぺたを赤で表現しました。かぼちゃを食べて元気が出るようにカボちゃんはガッツポーズをしています。小泉農園でもたくさん降る雪ときれいな星空をイメージして、カボちゃんの目の中に星を入れました。

小泉農園は自然と共存をモットーにしているということで緑あふれる自然と、その中でキラキラ光る小泉農園をイメージし、緑に囲まれた「カボちゃん」と、「小泉農園」を黄色で表現しました。



**作品名：ジャガ王**  
**製作者：鈴木 悠作（外国語学部3年次生）**



小泉さんはじゃがいも作りにはいちばん力を入れているとお聞きしたので、じゃがいものキャラクターを作りました。王様にしたのは小泉農園のじゃがいもが北海道の中でいちばんおいしいということアピールしたかったからです。王冠につけた三つの丸は豆やかぼちゃをイメージしました。あと、王冠のてっぺんには北海道の形をしたものをつけました。鼻はじゃがいもの芽の色のピンクを使ってみました。周りの緑の輪は、緑色は自然をイメージし、じゃがいもやそのほかの野菜が自然の中で育てられていることを伝えています。「小泉農園」という字も自然をイメージした色を使いました。



**作品名：ジャガボーイ**  
**製作者：和田 全起（情報学部4年次生）**

このキャラクターの名前の由来は、容姿がカウボーイを意識し、じゃがいもをメインに体が作られているところや目がかわいくて少年（ボーイ）の様であるという三つの点からきています。ジャガ・カウボーイ・ボーイが組み合わさって、「ジャガボーイ」となりました。

なぜ体がじゃがいもで作られているかというと、小泉農園では主にじゃがいもを作っておられるということなので、特にそれが協調されるように作りました。

しかし、ほかのパーツにもぜひ注目していただきたいです。まず、どっしりとした足は大きなかぼちゃ、つぶらな瞳は小豆、丸い手は大豆、カウボーイハットにさされているのは小麦、そして高々と手に掲げているのはスイートコーンです。これらは小泉農園で作られていると聞いたものをピックアップして組み合わせさせてみました。「ジャガボーイ」一人でいろんな作物を表現しています。

そして商品を心を込めて丁寧にお客様に贈るという意味を込めて、「ジャガボーイ」の周りをきれいにリボンでくるみ、前は、ちょうちょう結びで整えました。さらに一番前には、小泉農園の文字をローマ字で、高級感のある感じを出しました。これぞ高品質の心のこもった小泉農園からの贈り物にぴったりでしょう!!





大学院 国際学研究所  
比嘉 康雄

万博の仕事をするようになったきっかけは、ゼミの担当教授から「愛知万博の南太平洋共同館でスタッフを募集している」と聞いたことです。大学院では南太平洋地域の研究をしていて、以前から機会があればぜひ同地域に貢献できるような仕事があったらと思っていたので、すぐに応募しました。

まず2005年1月大雪の降る中、私は初めて万博へ入り、館に何も無い空っぽの状態を見たその日に、大工職人7人、プロデューサーとの宿舎での共同生活が始まりました。3日目までは、現場のごみ拾い、プロデューサーの横で施工業者との打ち合わせを聞くなど、仕事の流れを覚えるだけで必至でした。しかし、4日目でプロデューサーに突然「私は東京の事務所に帰る」と言われ、その後大工職人7人の世話と現場の経費管理から、そのほかに業者との打ち合わせまですべて任されることになりました。2月半ばでようやくサモ

アの伝統的家屋とトンガ王国の伝統的外洋カーヌーなどが完成し、館建築は着々と進んでいきました。

3月に入ると、現場の仕事と平行してアテンダント(案内係)の研修が始まりました。さらに飲食店舗と土産品販売の立ち上げのために、レジの講習から食品衛生管理の講習なども受けていました。そして私はアテンダント・リーダー、2店舗の店長となり、さらに館建築当初から立ち会いをしていたので、植木、水槽の管理から鍵の管理まで施設全般の管理責任者に指名され、25日の開幕を迎えました。

初日は、お客様が少なくヤシの実があまり売れなかったのですが、徐々に売り上げが伸びださんと忙しくなりました。4月に入ると、館内の南太平洋の音楽、外国人スタッフとの触れ合い、ダンスが好評となり、新聞やテレビなどで館の名物であるヤシの実が取り上げられ、万博内で自他ともに認める人気外国パビリオンとなりました。また余裕のあるときは夕方から閉館まで、外国人スタッフ、日本人スタッフみんなでダンスを踊ったり、休みは現地スタッフと花見に行き交流を深めたりと、非常に楽しい毎日でした。

しかし6月に入ると雨の日が多くヤシの実の売れ行きが悪くなり、さらにヤシの実の外にカビが発生し大変悩みました。そこで中身には全く問題がなかったのでカビのヤシの実を加工し、ジュースにすることで何とか売り上げの巻き返しに成功し、店長としての責任を果たすことができました。また一方で中日新聞に自分自身の記事が大きく載り、アテンダントとしての仕事も認められ非常にうれしかったです。

7月、8月は、各国ナショナルデー(会期中に外国館出展国の日と定められた一日。当館は11か国の共同館なので11回)があり、当日はEXPOホールや館内などで、各国によるダンス、VIPの演説等のイベントがあり、楽器の搬送などの準備やVIP対応などで奔走しました。またその間も店長として店やヤシの実の在庫管理、バイトの管理、ほかに経理、アテンダント業務も平行して行っていたので非常に忙しかったです。

そして9月25日閉幕。早めに館を閉め、スタッフ全員で労をねぎらい、朝まで踊り明かし、私の万博は終わりました。最後にまだ撤収作業があり、館がなくなるのを見届けなければなりません、大変やりがいのあった楽しい仕事でした。

責任ある立場で孤独を感じたこともありますが、約10か月間私を支えてくれたのは、外国人スタッフであり、日本人アテンダントの仲間であり、関係者の人、家族、親戚、地元の良い友人であり、館に訪れてくださった恩師や先輩や大学のかたでした。万博で得た経験や仲間が今後自分の支えとなり大きな力になると確信しますし、将来は南太平洋の友人と再び仕事ができればと思っています。



## バレーボール部(男子)

我々大阪学院大学バレーボール部は1部昇格を目指し、毎日厳しい練習と筋力トレーニングを繰り返してきました。大学が長期休暇に入ると全国各地で遠征合宿を行っています。今年の春季合宿では、はじめて単独での練習合宿を行い選手一人ひとりの能力を高め、またチーム全体の底上げを図りました。さらに、九州の強豪高校を集め将来チームメイトとなる人材発掘の大会を開催するなど、将来を見据えた活動も行っています。今までの地道な活動が功を奏し、今季の春季リーグ戦の入れ替え戦で大阪体育大学をセットカウント3-1、しかも取得セットは全てデュースの接戦を制し、悲願であった1部昇格を果たすことができました。この結果に満足することなく、秋季リーグでは1部上位進出という新たな目標のもと、部員一同さらなる努力をしていこうと思います。



経済学部3年次生  
主務 片山 和人

平成17年 関西大学バレーボール春季リーグ戦 結果  
～1部昇格への道～

月 日	対 戦 校	結 果
4月16日(土)	関西大学	(勝) 3-0
4月17日(日)	京都大学	(勝) 3-0
4月23日(土)	京都創成大学	(勝) 3-1
4月24日(日)	大阪経済法科大学	(勝) 3-1
5月5日(木・祝)	龍谷大学	(負) 2-3
5月7日(土)	甲南大学	(勝) 3-1
5月8日(日)	天理大学	(勝) 3-0
5月15日(日)	天理大学	(負) 1-3
5月22日(日)	甲南大学	(勝) 3-1
5月29日(日)	龍谷大学	(負) 2-3
入替戦		
6月5日(日)	大阪体育大学	(勝) 3-1



## ◆個人賞◆

猛打賞 林 健太郎(経済学部4年次生)  
スパイク賞 谷口 直之(経営科学部4年次生)

## COPDって知ってる?

COPD (シーオーピーディー) は Chronic Obstructive Pulmonary Disease の略で「慢性閉塞性肺疾患」と呼ばれています。別名**たばこ病**といわれ喫煙が最大の原因で21世紀の生活習慣病といわれています。さらにCOPDの有病率・死亡率は上昇。WHOの発表では近い将来、死亡原因第3位になると予測しています。

### <どんな病気>

たばこや粉塵・有毒ガスなどによって生じた肺の慢性的な炎症（慢性気管支炎、肺気腫、びまん性汎細気管支炎など）のため気道がむくんで狭くなったり、肺胞の壁が破壊されたりすることにより肺に十分な空気が入り出できなくなる「気道制限」を起こす病気です。

### <その原因と予後>

COPDの大半は、喫煙という生活習慣が原因であるが、吸う本人だけでなく、他人のたばこの煙を吸わされること（**受動喫煙**）も発症の原因になります。ほかに加齢やウイルス感染等があります。病態は進行性・不可逆性で、壊れた肺は元に戻らない!

### たばこを吸い続けると……



- ⇒ 息切れを感じない生活から
- ⇒ 重いものを持ったときなどに息切れする
- ⇒ 急ぎ足や緩やかな坂で息切れする
- ⇒ 同年代の人より歩くのが遅く、息継ぎのために休む
- ⇒ 息切れがして100m程度または数分間しか歩けない
- ⇒ 衣服の着脱でも息切れがする

徐々に進行して行き、酸素吸入しながらやっと生活が維持できるつらい状況になります。

### <その予防>

禁煙は唯一 COPDの発症リスクを減らし進行を停止させる最も効果的な方法です。

今からでも遅くありません!



禁煙をお勧めします!

★未成年者の喫煙防止!

★受動喫煙の防止!

21世紀はきれいな空気を吸って快適に健康で過ごしたいものですね



## 新役職者〔2年任期〕



経済学部長  
水原 正亨 教授



法学部長  
本間 義信 教授



外国語学部長  
吉田 卓 教授



大学院部長  
法学研究科長  
南川 諱弘 教授



商学研究科長  
石田 三郎 教授



経済学研究科長  
鬼木 甫 教授



経営実務科長  
奥井 脩二 教授



国際文化学科長  
和田 桂子 教授

## 人事

新任〔平成17年9月1日付〕



国際センター所員  
客員助教授  
M.H. マツノ

新任〔平成17年10月1日付〕



国際センター所員  
客員助教授  
M.M. フジイ

退職〔平成17年9月25日付〕

- 国際センター所員 客員助教授 R.P. ストラシンスキー
- 国際センター所員 客員助教授 F.F. タマカワ
- 国際センター所員 客員助教授 L.H. ヒガシ

## 前期末卒業式



〔9月24日(土) 5号館地下2階アトリウム〕  
平成17年度 前期末卒業式が執り行われ、大学144名、大学院1名、短期大学3名が卒業しました。  
白井善康総長から学士および博士の学位記ならびに卒業証書が一人ひとりに授与され、これから社会へ羽ばたく卒業生にお祝いと励まし、そして社会人としての心構えなど、晴れの門出に際してのはなむけの言葉が贈られました。

## アラン・ウォン氏プレゼンテーション“成功への方程式”



〔6月1日(水) 2号館地下1階02教室〕

世界的に有名な Alan Wong's Restaurant のオーナー兼シェフであるアラン・ウォン氏を「ホテル事業論」のクラスにお招きし、プレゼンテーションをしていただきました。

「食」がグローバル化し、味覚が研ぎ澄まされてきた現代、ビジネス界で生き残るためには何が必要なのか?について話していただきました。「目標を持つことが大切だが、その目標を達成するまでに何をすべきかを考えることも大切です。失敗することは、学ぶことにとって不可欠であり、失敗を恐れる必要はないので、常に“Passion(熱意)”“Attitude(姿勢)”を忘れずに夢を持ち続けてください。」とのメッセージに、参加者は感銘を受けていた様子でした。

## 壮行会



〔6月8日(水) 17号館噴水前〕

体育会本部主催によりゴルフ部・サッカー部・剣道部・バスケットボール部の全国大会とそれぞれの大会での活躍を期待し、壮行会が開催されました。ゴルフ部男子・女子は関西学生春季1部校対抗戦ととも優勝し「第42回全国大学対抗戦」。「第28回全国女子大学対抗戦」出場へ、サッカー部は、春季リーグ戦5位で第34回関西学生サッカー選手権大会に出場し3位となり「第29回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント」出場へ、剣道部は、関西学生剣道選手権大会ベスト32に入り「全日本学生剣道選手権大会」に出場しました。また、バスケットボール部は今野くんが関西代表選抜に選出され、韓国漢陽大学定期戦、日本学生選抜大会に出場しました。

## 世界で活躍する“ジャパニーズ” ～リサ・ナカミチ氏ピアノリサイタル&トークショー～



〔7月11日(月) 2号館1階ラウンジ〕

世界で活躍するピアニスト リサ・ナカミチさんをお迎えし、素晴らしい演奏と楽しいトークをお楽しみいただきました。美しい音色がアトリウムいっぱいに広がり、ご来場の皆様心地よいひとときをお過ごしいただきました。

## 教育懇談会



本学会場：8月28日(土)・29日(日)、9月10日(土)・11日(日)

地方会場：8月23日(火)～9月14日(水)

教育懇談会では、保護者の皆様に対し本学の教職員が、学業状況に関する資料を基にご説明し、学生生活全般について各種ご相談・ご質問にお応えしています。

今年度は、本学会場および地方15会場において開催いたしました。特に本学会場では、ゼミナールの担当教員が直接相談を行い、授業時の様子などより密なご相談をさせていただきました。

なお、教育懇談会開催のみならず、来学・電話等によるご相談は、一年を通じて受け付けておりますので、ご遠慮なく申し出ください。

## ラグビーワークショップ



〔6月19日(日) ワールドラグビー場〕

梅雨晴れ間の日曜日、本学ラグビー部 田代義晴監督(元ワールド)を講師として、第5回目となるラグビーワークショップを開催しました。今回はラグビートップリーグ「ワールドファイティングブル」のご協力により、デズモンド・キサンヘッドコーチをはじめ現役選手8名、「近鉄ライナーズ」から川崎研作選手(本学ラグビー部OB)の10名の指導者により、第1部ではポジション別の徹底した技術指導を受け、第2部ではミニエキシビジョンゲーム(3試合)、吹田ラグビースクールVS芦屋ラグビースクール、大阪学院大学VS花園大学、大阪学院大学VS奈良県立医科大学が行われました。参加した101名の高校生たちは日本のトップレベルで活躍されているコーチ、選手という言葉に瞳を輝かせていました。

## ゴルフワークショップ



〔7月28日(木) 本学ゴルフ練習場・

20号館(トレーニングセンター)〕

今回で9回目となるゴルフワークショップを開催しました。平野勝之プロ(本学ゴルフ部監督)を講師に当日はグリップ・アドレスの基本から、アプローチやバターなど細かな点まで指導を受け、さらに20号館(トレーニングセンター)で、ラウンド前後のストレッチ、熱中症対策やゴルフに役立つ筋力トレーニングなど日々の練習に役立つ多くの知識を得て、参加した10名の小学生・中学生・高校生たちは技術、筋力UPの大切さやゴルフの楽しさを実感した一日となりました。

## アリス・イノウエ氏 風水セミナー



〔6月1日(水) 2号館1階ラウンジ〕

日本でも活躍中の風水アドバイザー アリス・イノウエさんをお迎えし、風水の興味深いお話をしていただきました。風水の基本的な考え方は「自分の周りがあるモノ(環境)で運氣を変えることができる」ということです。その中で特に我々の生活の中で実践できることとして、1.「身の回りを片付ける」2.「自分が本当に好きなものを身の回りに置く」3.「壁に掛ける絵や写真は吟味する」。この3つのアドバイスをいただきました。

参加者の皆様から、「風水は決して難しいものではなく、身近な生活から見直すことで運氣を変えられるものだ」という感想をいただきました。

## 2005 フェニックスフェスティバル 「古典芸能の夕べ」～大阪学院大学 薪能～



〔10月17日(月) 17号館前 特設舞台〕

観世流シテ方 大江家七代御当主 大江又三郎師のご支援を賜り、今回で12回目を迎えたフェニックスフェスティバル「古典芸能の夕べ～大阪学院大学 薪能」を開催いたしました。日本の伝統芸能である「能」を薪能形式で執り行い、今年もお二人の人間国宝 茂山千作 師、曾和博朗 師にご出演いただきました。能「二人静」、狂言「柑子」、仕舞「松虫」、能「張良」の演目をご披露いただき芸術の秋を堪能できた一夜となりました。

## 岸辺祭



〔10月21日(金)～24日(月)〕

「Hi Feel Up!」をテーマに今年も盛大に岸辺祭が開催されました。今年は地域との交流が深まるよう「学院THE・フリーマーケット」を企画し、キャンパスのあちこちで本学学生と地域のかたがたとの和気あいあいとした交流の場が生まれました。また日ごろの活動の成果を発揮する学術祭・展示祭・音楽祭・演武祭や、NAMI TAMAKI(玉置 成美)さんによるライブやK-1の須藤元氣氏によるトークショーや感動のエンディングを飾るレーザーショーなど様々なイベントが繰り広げられ、キャンパスは年に一度の「お祭り色」に染まりました。

# INFORMATION

December~

## 庶務課

### 2005 イルミネーション

期間：12月1日(木)~12月25日(日) 17:00~20:00

場所：5号館前・17号館前

問合せ：庶務課(渉外係)

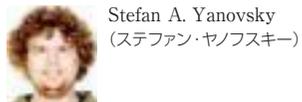
キャンパス内の大小の木々に1万5千個以上の電飾を施し、イルミネーションの点灯を行います。暗がりに浮かぶ時計台と木々にきらめく光のファンタジーが冬の夜を彩り、いつもと違ったキャンパスが楽しみいただけます。オープンカフェによるホットドリンクサービスや、学生によるミニコンサートなども予定していますので、ぜひお越しください。期間中はご自由にお立ち寄りいただけます。



## 国際センター

海外提携大学から次の9人が留学しています。(平成17年10月~平成18年7月)

### セント・トーマス大学から



Stefan A. Yanovsky  
(ステファン・ヤノフスキー)

### セント・トーマス大学から



Evan R. Reece  
(エバン・リース)

### オルレアン大学から



Julia E. I. Pauvert  
(ジュリア・ポヴェール)

### オルレアン大学から



Julien V. Morand  
(ジュリアン・モラン)

### トリア大学から



Monika M. Pradelok  
(モニカ・ブラデロック)

### カリフォルニア州立大学ロングビーチ校から



Joseph W. Weems  
(ジョセフ・ウィームス)

### ハワイパシフィック大学から



Yunjie Ji  
(ユンジェ・ジ)

### ハワイパシフィック大学から



Melvic B. Malanog  
(メルビック・マラング)

### ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジから



Ross K. Hamada  
(ロス・ハマダ)

## TIMETABLE

12月26日(月) 冬期休暇開始(大学・短期大学・大学院) [至1月7日(土)]	2月14日(火) 後期試験開始(法科大学院) [至19日(日)]
27日(火) 冬期休暇開始(法科大学院) [至1月7日(土)]	18日(土) 修士論文口述試験(大学院 法学研究科) [至22日(水)]
1月8日(日) 後期授業再開(法科大学院)	25日(土) 後期追試験(法科大学院) [至26日(日)]
10日(火) 後期授業再開(大学・短期大学・大学院)	3月1日(水) 卒業可否発表(大学・短期大学)
23日(月) 後期授業終了(大学・短期大学)	後期追試験・再試験受験申込(大学・短期大学) [至2日(木)]
24日(火) 後期補講(大学・短期大学) [至28日(土)]	2日(木) 修士論文口述試験(大学院 商学・経済学・国際学研究科) [至9日(木)]
25日(水) 後期授業終了(大学院)	4日(土) 後期追試験・再試験(大学・短期大学) [至8日(水)]
26日(木) 後期補講(大学院) [至27日(金)]	20日(月) 卒業式(大学・短期大学・大学院)
28日(土) 学年試験開始(大学院) [至2月10日(金)]	23日(木) 前期オリエンテーション(大学) [至4月10日(月)]
後期授業終了(法科大学院)	29日(水) 前期オリエンテーション(短期大学) [至4月10日(月)]
29日(日) 後期補講(法科大学院) [至2月4日(土)]	31日(金) 学年終り(共通)
30日(月) 後期試験開始(大学) [至2月16日(木)]	
後期試験開始(短期大学) [至2月13日(月)]	

## 就職センター

### 就職センターより

就職部長の國定浩一教授から就職活動についてアドバイスをいただきましたので、今後の参考にしてください。



就職部長 國定 浩一 教授

### 4年生の皆さんへ

就職・内定者は、社会に出る前の心の準備や不足しているスキルの強化を!!  
未内定者は、最後まであきらめずに相談を受けながら活動を続けてください。

### 3年生の皆さんへ

3年次前期から引き続き就職に向けての本格的な準備に取り掛かるようガイダンスやセミナーを通じて支援しています。

### 1・2年生の皆さんへ

将来の進路に向けて、自分なりの目標を立てて取り組む時期です。夢や目標がない、あるいは、何をしたらよいか分からないという人はぜひ就職センターで相談を!!

### 就職センター主催の行事予定

#### 【大学4年次生・短大2年次生対象】

12月1日(木)	就職ガイダンス(特別編) フォロアアップガイダンス⑥	いよいよ就職活動も大詰めです。4月から働き始める会社に対して不安を持っている学生、まだ納得した就職活動を終えていない学生は、ぜひこの機会に参加しましょう!!
----------	----------------------------	--

#### 【大学3年次生・短大1年次生対象】

11月7日(月)~11日(金)	キャリアセミナー(業界研究)	業界別に人事担当者からお話がきけるチャンスです。(昨年は、アパレル・メーカー・流通・IT業界が参加)今年もご期待!!
11月14日(月)~18日(金)	キャリアセミナー(ナビ利用)	就職活動の中で、WEBエントリーは欠かせません。そのエントリー方法を伝授します。
11月14日(月)~18日(金)	就職試験対策⑤(エントリーシート)	エントリーシートは、選考の第一関門です。自分をアピールし、人事担当者の気持ちをつかむ文章とは何かを学べる攻略テストを実施。(各自添削付)
11月21日(月)	キャリアセミナー(四季報・新聞の読み方)	企業のHPだけでは会社の業績・展望は見えません。新聞や四季報など様々なところから情報収集をしましょう!
11月28日(月)	第3回就職ガイダンス	先輩から内定を勝ち取るためのコツ・メッセージを聞けるガイダンスです。先輩に就職活動の不安をぶつけてみましょう!
12月5日(月)	キャリアセミナー(面接攻略)	面接試験にも、個人面接・集団面接・グループディスカッション・圧迫面接など様々です。人事担当者の視点を検証し、最大限アピールできるように面接ノウハウを身につけましょう!
12月12日(月)	キャリアセミナー(女子マナー)	女性にとってマナー・立ち居ふるまいは重要なポイントです。この機会にマスターしましょう!
12月19日(月)	就職ガイダンス(特別編)	Uターン希望者対象のガイダンスです。地方で就職を考えている学生はぜひ参加しましょう。
1月16日(月)~1月20日(金)	第4回就職ガイダンス	いよいよ企業のかたと直接お会いする機会が近づいてきました。2月に控えている会社説明会・合同会社説明会におけるポイントを説明します。
2月下旬	就職ガイダンス(特別編)	クラブ学生対象のガイダンスです。限られた時間の中で効率よく就職活動をするコツをお話します。
2月17日(金)~3月3日(金)	第1回学内会社説明会	各企業の採用担当者が来学されます。(約250社参加予定) 企業の特徴、採用計画等をご説明いただきます。
3月1日(水)~3月3日(金)	学内公務員説明会 ※全学年対象	各団体の採用担当者(10団体程度)から、公務員の使命、採用計画、試験対策等をご説明いただきます。